

ロータリーの特別月間 (Special Months in Rotary)

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー (RI) 理事会が指定した月間のことです。

8 月 会員増強および拡大月間 (Membership and Extension Month)

会員増強 (内部拡大、外部拡大) 活動に重点を置く月間です。

9 月 新世代のための月間 (New Generations Month)

年齢 30 歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。

10 月 職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うことが奨励されています。

11 月 ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)

月間中、クラブは財団のためのプログラムを実施することが推奨されています。

12 月 家族月間 (Family Month)

世界平和は、家族から始まるとの考えからこの月間が指定されました。

1 月 ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)

会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。

2 月 世界理解月間 (World Understanding Month)

ロータリーの創立記念日 2 月 23 日は、世界理解と平和の日と定められ、この月間中、世界平和のために、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請されています。

3 月 識字率向上月間 (Literacy Month)

識字率向上は 1986 年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。

4 月 雑誌月間 (Magazine Month)

RI の公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界 31 の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌 (『ロータリーの友』など) に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

6 月 ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)

「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門です。現在、約 100 近い親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。より多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられました。

◆ ロータリー特別週間 Special Weeks in Rotary

「世界インターアクト週間 (11月5日を含む1週間)」 (World Interact Week)

「追悼記念週間 (1月27日を含む1週間)」 (Remembrance Week)

1947年1月27日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日です。1月27日を含む1週間で、物故ロータリアンの冥福を祈る「追悼記念週間」と指定しました。

「世界理解と平和週間 (2月23日～3月1日)」 (World Understanding and Peace Week)

1905年2月23日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この創立記念日に、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。

「世界ローターアクト週間 (3月13日を含む1週間)」 (World Rotaract Week)

各RCには、地元のRACとの共同プロジェクトや、親睦活動に参加するよう、呼びかけを行っています。

10月 米山月間 (Yoneyama Month)

日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動を行います。

(文責 丹治正博)